



# 2014年2月期 第2四半期決算説明資料

*For the Year Ended February 28, 2014*

*Second Quarter Report*

2013年10月1日

*October 1, 2013*

株式会社 **UCS**

UCS CO.,LTD.

Listed Company 8787



ユニグループ・ホールディングス



UCS CO.,LTD.

# 目次

---

---

## I 2014年2月期第2四半期事業概況

1. 主要数値実績	3ページ
2. 主要財務数値	4ページ
3. 財務ハイライト	5ページ
4. 営業収益・営業費用	6ページ
5. カード会員数と稼働率	7ページ
6. ショッピング 取扱高と営業収益	8ページ
7. ショッピング リボ、分割払い	9ページ
8. 融資	10ページ
9. その他（保険・リース・WEB）	11ページ
10. 貸倒関連	12ページ
11. 利息損失関連	13ページ
12. 資金調達	14ページ

## II 2014年2月期下期の取り組み

1. 重点経営課題	16ページ
2. HD体制によるシナジー創出（電子マネー事業）	17ページ
3. 収益構造の変革	19ページ
4. 収益構造の変革（ショッピング）	20ページ
5. 収益構造の変革（ショッピングリボ・分割、融資）	21ページ
6. ローコスト運営	22ページ
7. 2014年2月期 業績予想	23ページ

---

---

# I 2014年2月期 第2四半期事業概況

(2013/3/1~2013/8/31)

# 1. 主要数値実績

		前第2四半期 (2012年8月期)	当第2四半期 (2013年8月期)	前期比	
				増減額	増減比
取扱高 Trading Volume	億円	2,521	2,809	+287	+11.4%
営業収益 Operating revenues	億円	82	85	+2	+2.5%
営業利益 Operating income	億円	12	18	+6	+52.9%
経常利益 Ordinary income	億円	12	18	+6	+52.6%
四半期純利益 Net income	億円	7	11	+4	+58.7%
1株あたり 四半期純利益 Net income per share	円	38.77	61.53	+22.76	

(数値は億円未満切捨て)

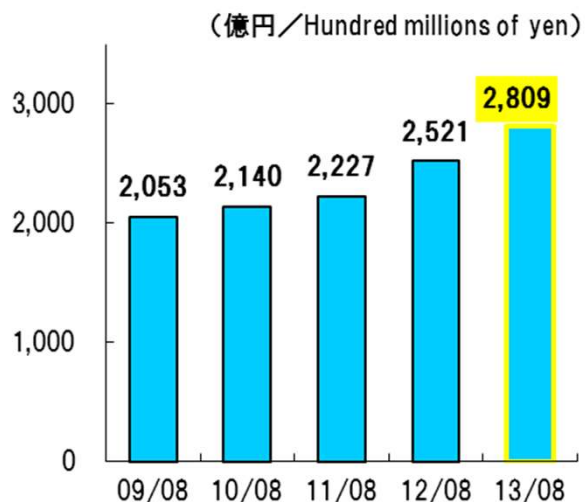
## 2. 主要財務数値

		前期末 (2013年2月期)	当第2四半期末 (2013年8月期)	前期末比	
				増減額	増減比
資本金 Common stock	億円	16	16	± 0	± 0%
総資産 Total assets	億円	1,043	1,103	+ 59	+5.7%
純資産 Total shareholders' equity	億円	192	201	+ 8	+4.6%
自己資本比率 Shareholders' equity ratio	%	18.4	18.2	△0.2	
1株あたり純資産 Shareholders' equity per share	円	1023.19	1069.77	+46.58	

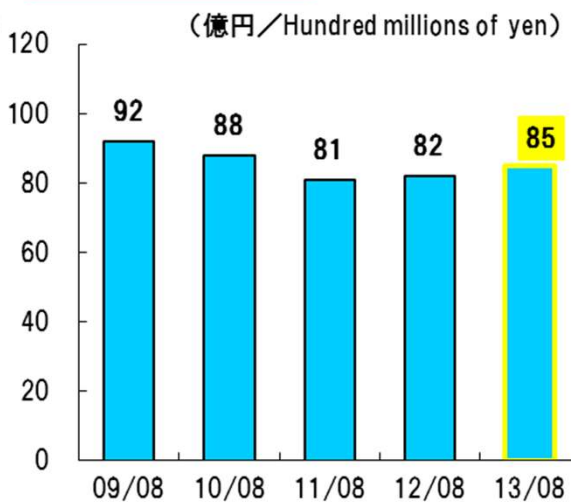
(数値は億円未満切捨て)

# 3. 財務ハイライト

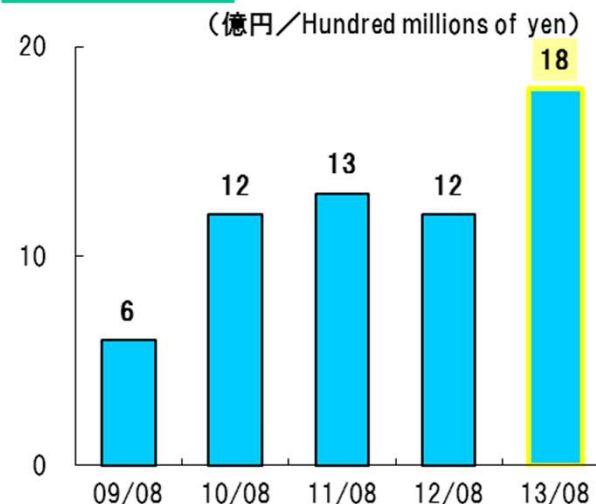
## 取扱高



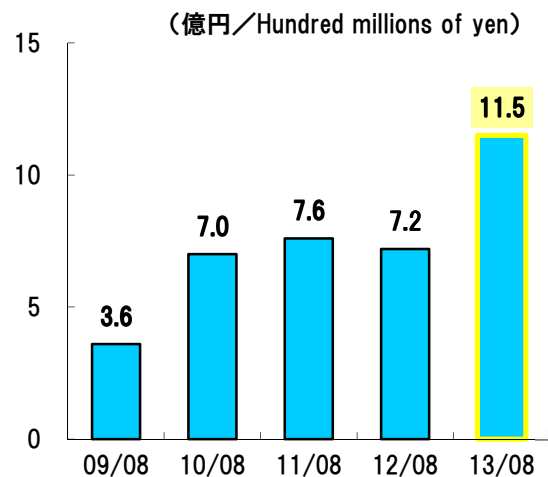
## 営業収益



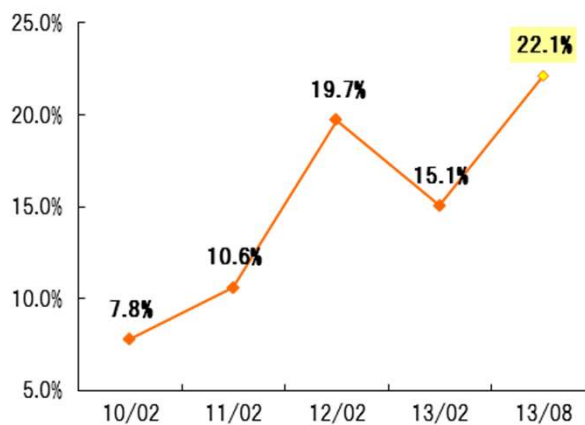
## 経常利益



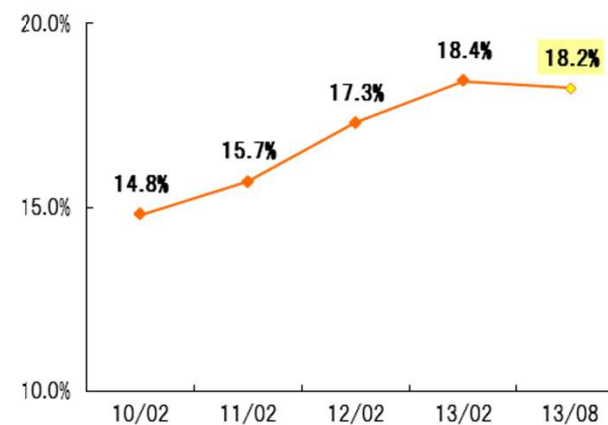
## 四半期純利益



## 経常利益率



## 自己資本比率



## 4. 営業収益・営業費用

### 営業収益

(単位：百万円/)

	前第2四半期 (12/08)	当第2四半期 (2013/08)	増減額	増減比 (%)
包括信用購入あつせん	5,257	5,770	+512	+ 9.7
融資	1,652	1,356	△295	△ 17.9
保険	783	819	+ 35	+ 4.6
その他	602	553	△ 49	△ 8.1
合計	8,296	8,500	+203	+ 2.5

### 営業費用

(単位：百万円/)

	前第2四半期 (12/08)	当第2四半期 (2013/08)	増減額	増減比 (%)
販売費及び一般管理費	6,613	6,383	△230	△ 3.5
(内貸倒・利息損失関連費用)	779	43	△736	△94.4
金融費用	453	237	△216	△47.6
営業費用合計	7,067	6,621	△446	△ 6.3

# 5. カード会員数と稼働率

【カード会員数】 **312万人**（前期末比 2.7万人純減）

●カード発行者数 7.4万人（前期 7.6万人）

●退会者数 10.2万人（前期 10.0万人）

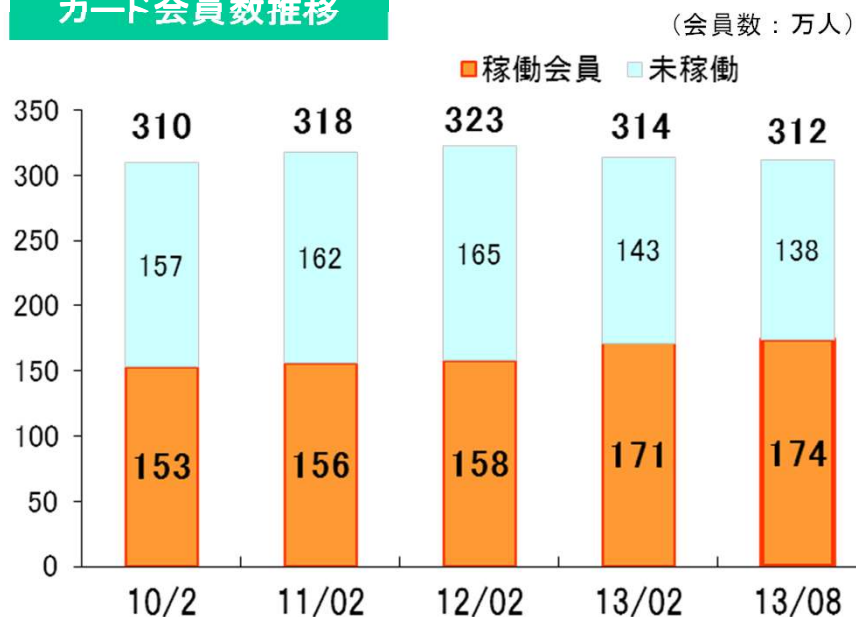
更新カード発行条件の見直しにより、退会数が増加。

【稼働率】 月間 **42.2%**／年間 **60.9%**

●新規入会者月間稼働率 47.8%（前期比2.8%増）

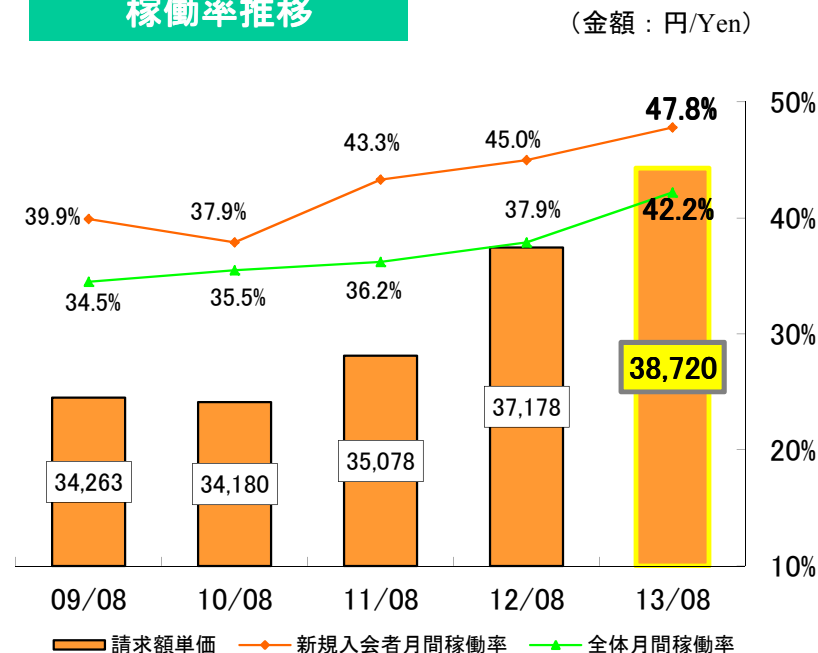
●月間請求額 38,720円（前期比 1,542円増）

## カード会員数推移



稼働会員 = 1年に1回以上カードを利用

## 稼働率推移





## 6. ショッピング 取扱高と営業収益

【取扱高】 **2,728億円** (前期比 12.0%増)

ユニーグループ内 **974億円** (前期比 7.9%増)

ユニーグループ外 **1,753億円** (前期比 14.4%増)

【営業収益】 **57億円** (前期比 9.7%増)

【グループ内取扱高構成比】

36%

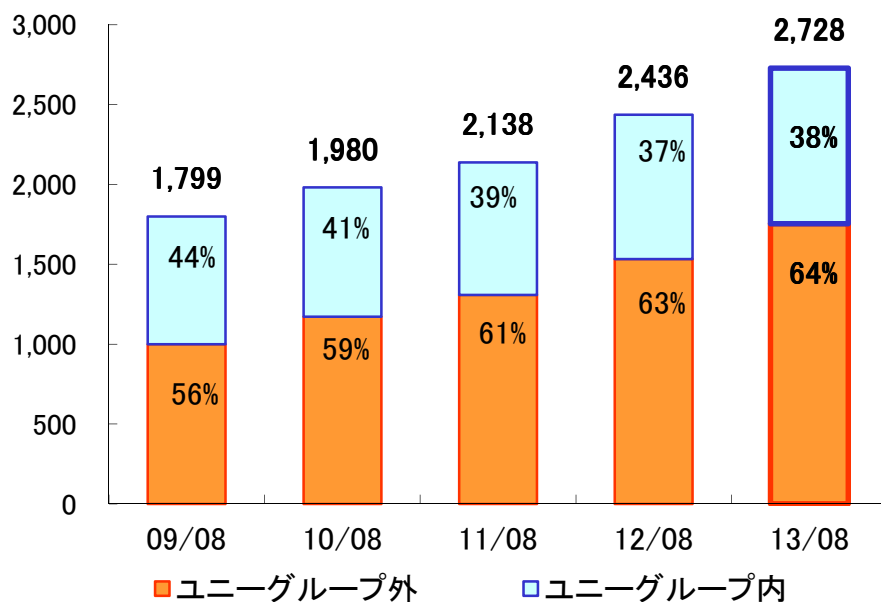
【グループ外取扱高構成比】

64%

✓ ユニーでのUCS会員向け優待企画の実施や、ポイントプログラムを活用したキャンペーン展開により、グループ内外で好調に推移。

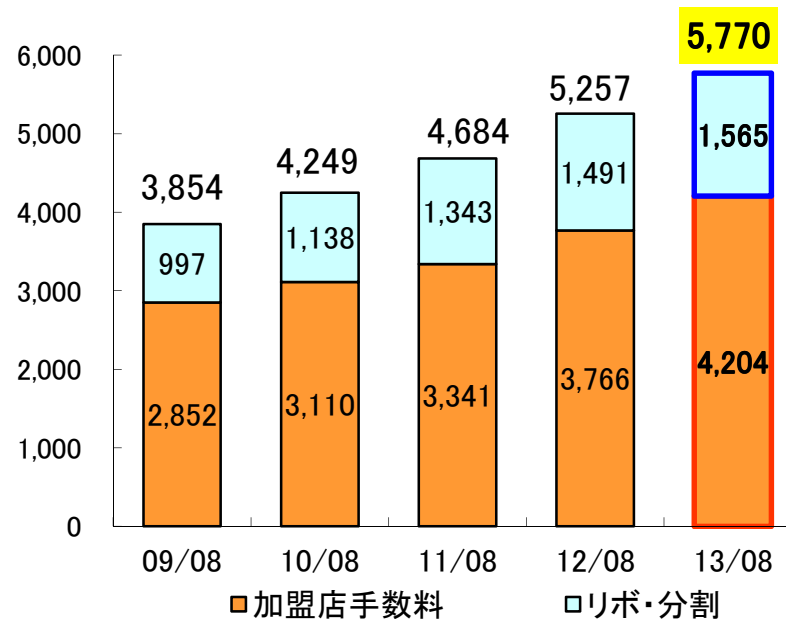
### ショッピング取扱高の推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



### ショッピング営業収益の推移

(金額：百万円/Millions of yen)

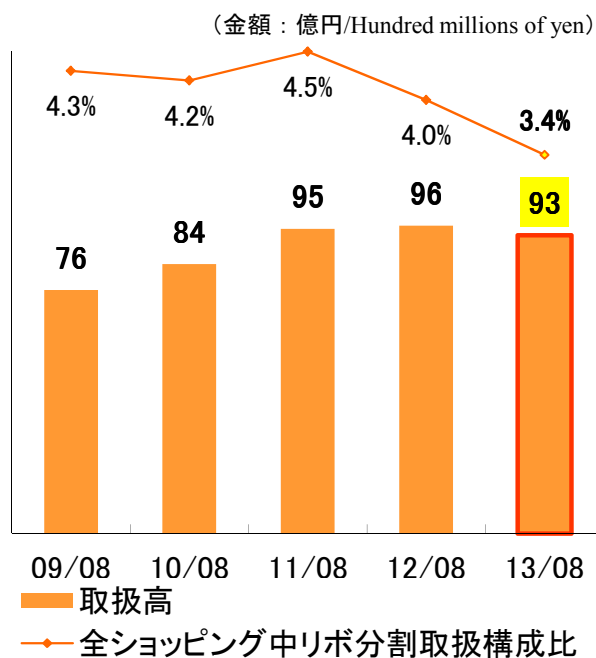


# 7. ショッピングリボ、分割払い

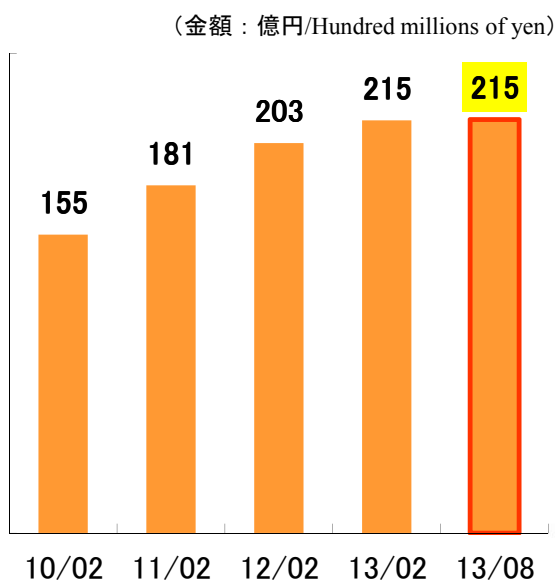
【取扱高】	93億円	(前期比	2.6%減)
【残高】	215億円	(前期末比	0.2%増)
【営業収益】	15億円	(前期比	5.0%増)

✓ 割賦販売法改定（更新時の支払可能見込み額調査）の影響で取扱高は前年割れ。影響軽減に向け顧客情報の整備、営業販促強化に取り組む。更新処理が一巡する来期まで影響が出る見通し。

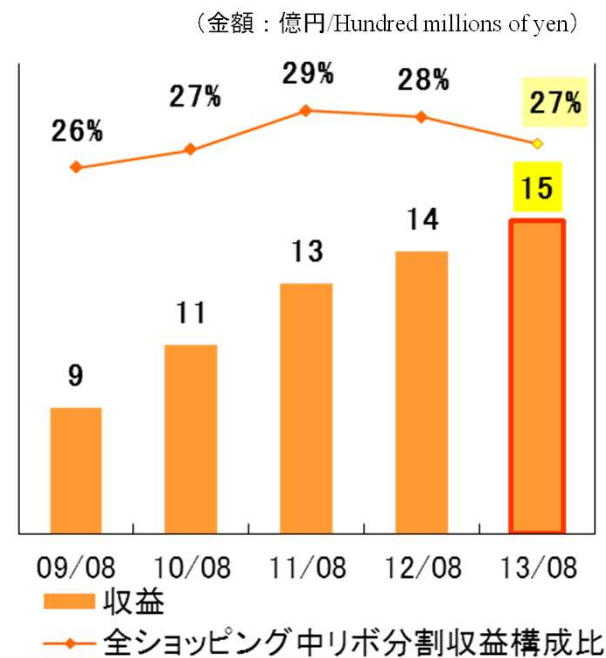
リボ分割取扱高・取扱比率



リボ・分割 残高



リボ・分割 営業収益・収益構成比



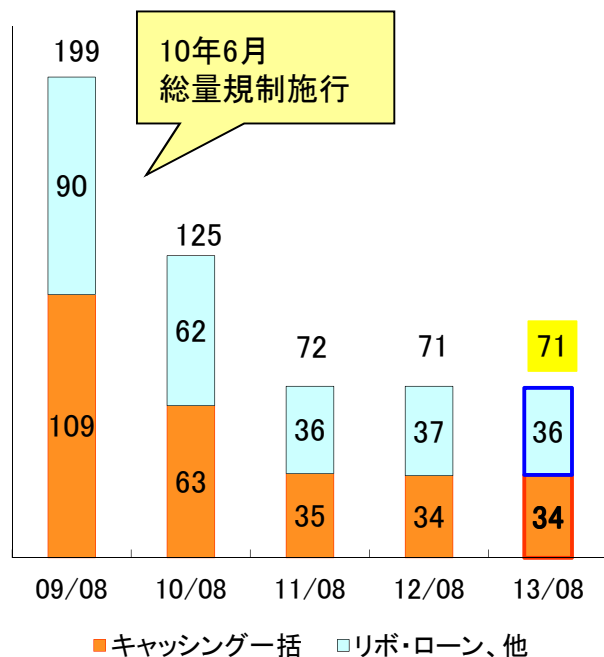
## 8. 融資

【取扱高】	71億円	(前期比 0.5%減)
【残高】	145億円	(前期末比 7.6%減)
【営業収益】	13億円	(前期比 17.9%減)

✓ 貸金業法改定の影響により、依然厳しい状況が継続。継続した利用環境の整備や、営業販促強化により、残高、営業収益の減少幅は縮小。

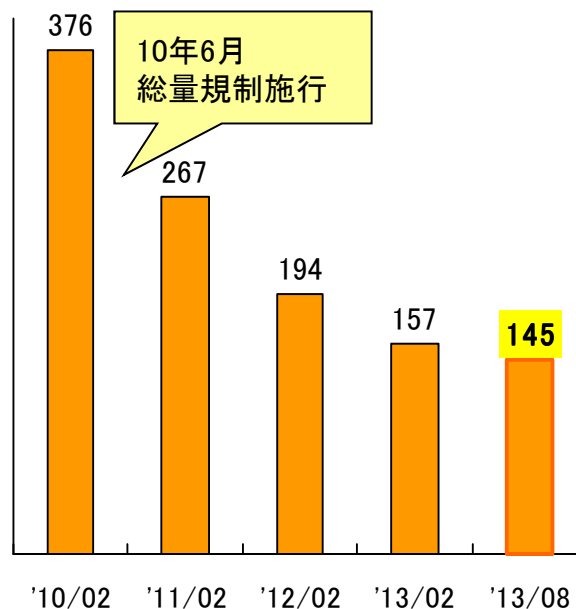
### 融資取扱高推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



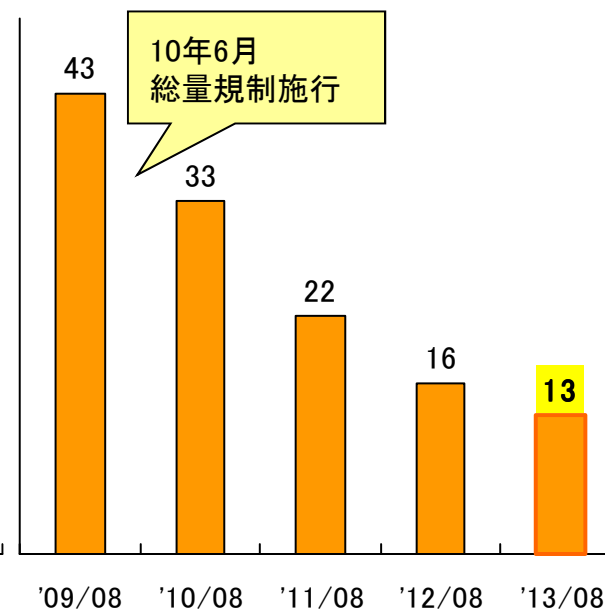
### 融資残高推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



### 融資営業収益推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



## 9. その他（保険・リース・WEB）

- 保険・リース関連 グループ企業との連携強化により、着実に拡大。
- WEB関連 ぽいん貯モールの取扱高拡大により好調に推移。

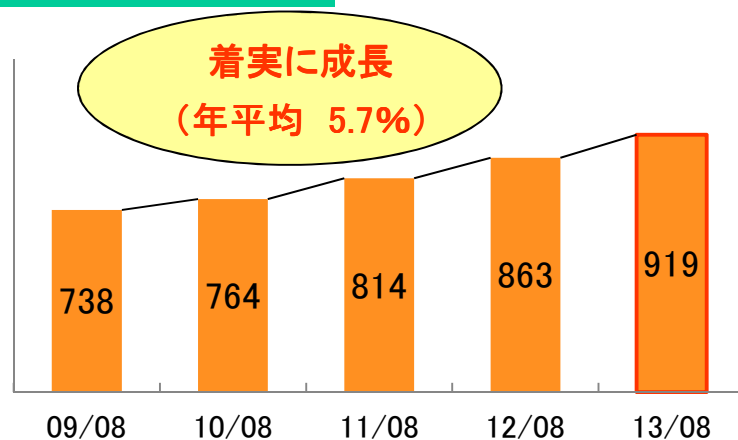
### 営業収益

（金額：百万円/Millions of yen）

サービス	2012年8月期	2013年8月期	増減額	増減比(%)
保険	783	819	+35	+4.6
リース	39	48	+8	+22.5
WEB	18	27	+8	+49.3
旅行	22	24	+2	+8.3
合計	863	919	+55	+6.4

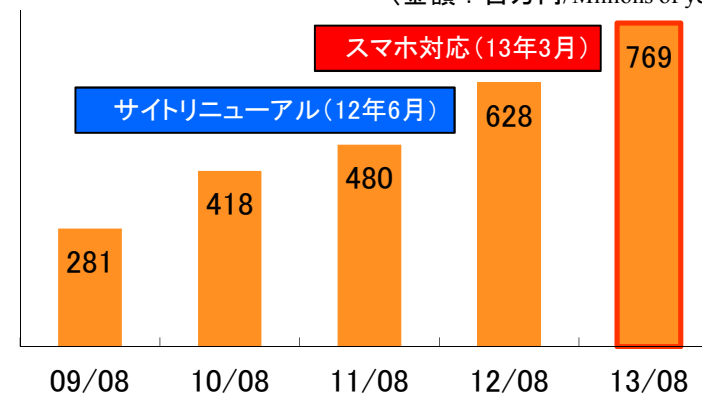
### 営業収益の推移

（金額：百万円/Millions of yen）



### ぽいん貯モール(WEB)取扱高推移

（金額：百万円/Millions of yen）



# 10. 貸倒関連

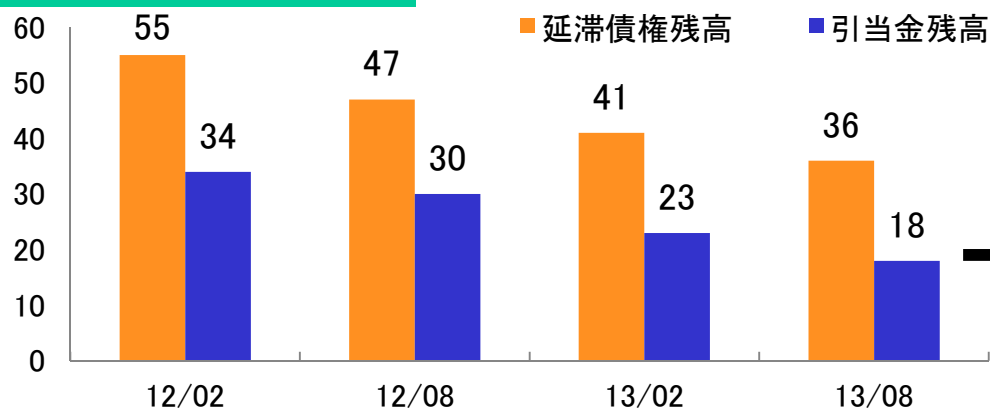
- 営業債権の健全化により、延滞債権残高が減少。
- 引当金の算出を期末一括見直しから、期中での見直しに変更。

(金額: 百万円/Millions of yen)

	2012/2月期		2013/2月期		2014/2月期	
	上期	通期	上期	通期	上期	増減
引当金繰入額	488	257	147	△65	△227	△375
(内貸倒償却)	(966)	(1,681)	(551)	(1,016)	(338)	△213
引当金残高	4,411	3,465	3,061	2,383	1,816	—
(期首比増減)	(△478)	(△1,424)	(△404)	(△1,082)	(△566)	—

## 延滞債権と引当金

(金額: 億円/Hundred millions of yen)



### 債権の健全化が進行

- ✓ 適正な与信管理
- ✓ 回収体制の強化

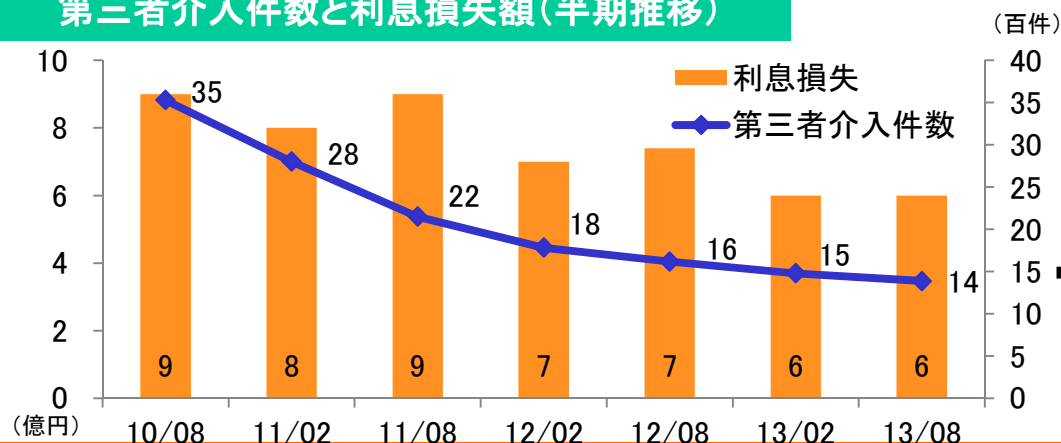
# 1 1 . 利息損失関連

- 利息返還請求は減少傾向が継続しているが、依然高水準で推移。
- 今期より、引当金の算出基準値を変更。より実態を反映。

(金額: 百万円/Millions of yen)

	2012/2月期		2013/2月期		2014/2月期	
	上期	通期	上期	通期	上期	増減
引当金繰入額	711	650	632	1,354	271	△361
(内利息損失)	(896)	(1,608)	(759)	(1,392)	(597)	△162
引当金残高	2,990	2,217	2,090	2,179	1,853	—
(期首比増減)	(△185)	(△958)	(△127)	(△38)	(△326)	—

第三者介入件数と利息損失額(半期推移)



## 利息返還請求の推移

- ✓ 第三者介入数は減少傾向
- ✓ 利息返還請求は減少傾向
- ✓ 減少のペースはゆるやか

## 12. 資金調達

- 2012年7月より、ユニーグループ・ホールディングスによるCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）を導入。
- 借入残高の圧縮と、調達金利の低減により、支払利息が削減。

（金額：億円/Hundred millions of yen）

	前期末 (2013/2月期)	当第2四半期 (2013年8月)	増減
短期借入(ユニーグループHD)	232	294	+61
長期借入	226	154	△72
長期借入(ユニーグループHD)	10	10	±0
債権流動化	95	95	±0
借入金合計	564	553	△10
平均調達金利(%)	0.97	0.83	△0.15
※支払利息(前期上期)	4	2	△2

---

---

## Ⅱ 2014年2月期 下期の取り組み



# 1. 重点経営課題

## 経営方針

「確固たる増収増益体質の確立」

### 2014年2月期 経営課題

HD体制によるシナジー創出

※ HD…ユニグループ・ホールディングス

成長シナジー、コストシナジーの両立

バランスのとれた収益構造の確立

ショッピングを中心とした収益構造の確立

ローコスト経営の推進

業務の効率化とコスト削減の推進

## 2. HD体制によるシナジー創出（電子マネー事業）

### 電子マネー事業（前払式決済手段）への参入

2014年4月に予定の消費増税後の消費低迷に備え、  
現金顧客の会員化を進め、  
ロイヤルカスタマー化による来店頻度・客単価の向上を目指す。

ユニー  
グループ各社

- 売上確保のためのお客様の囲い込みツールとする。

UCS

- 電子マネー決済による手数料収益を「新たな事業」とする。

カード名称「ユニコ」（グループオリジナル電子マネー）

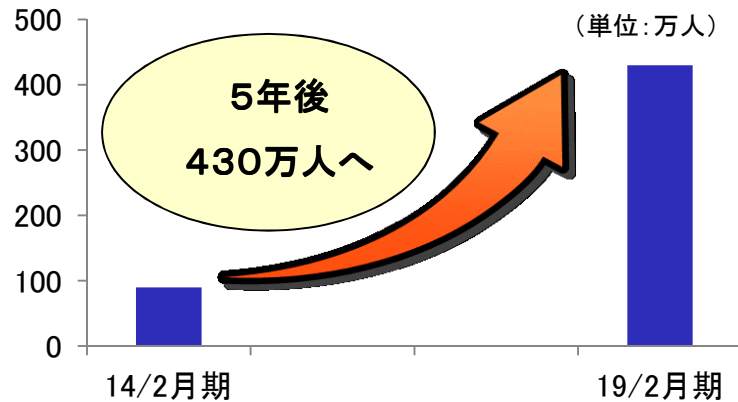


【グループ電子マネーを起点とした連携強化】

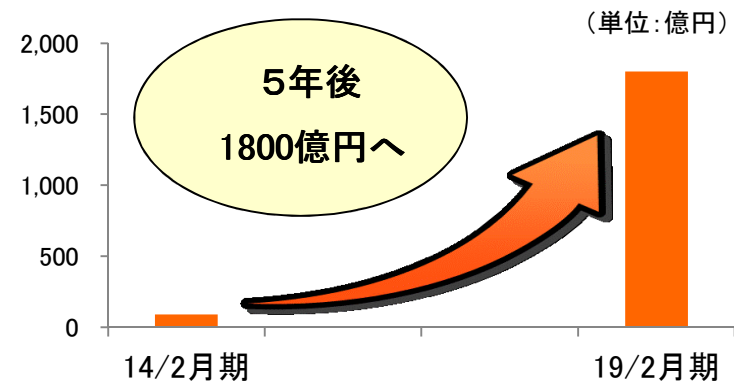
- ✓ キャンペーンの実施による店舗集客の拡大
- ✓ 会員募集での協力・連携強化
- ✓ ユニーCRM施策での協力・連携強化

● 今期はユニーのみで運用開始。来期以降、各グループ会社へ導入予定。

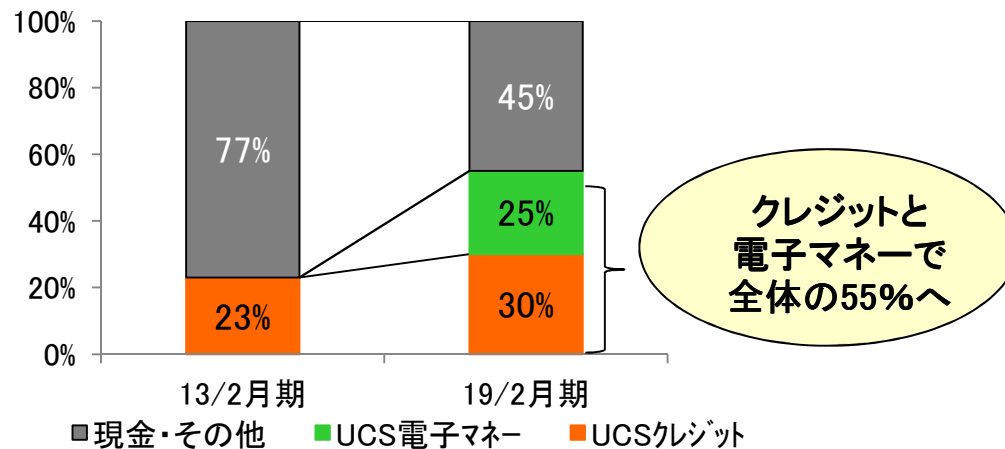
電子マネー会員数（計画）



電子マネー取扱高（計画）



ユニー決済比率



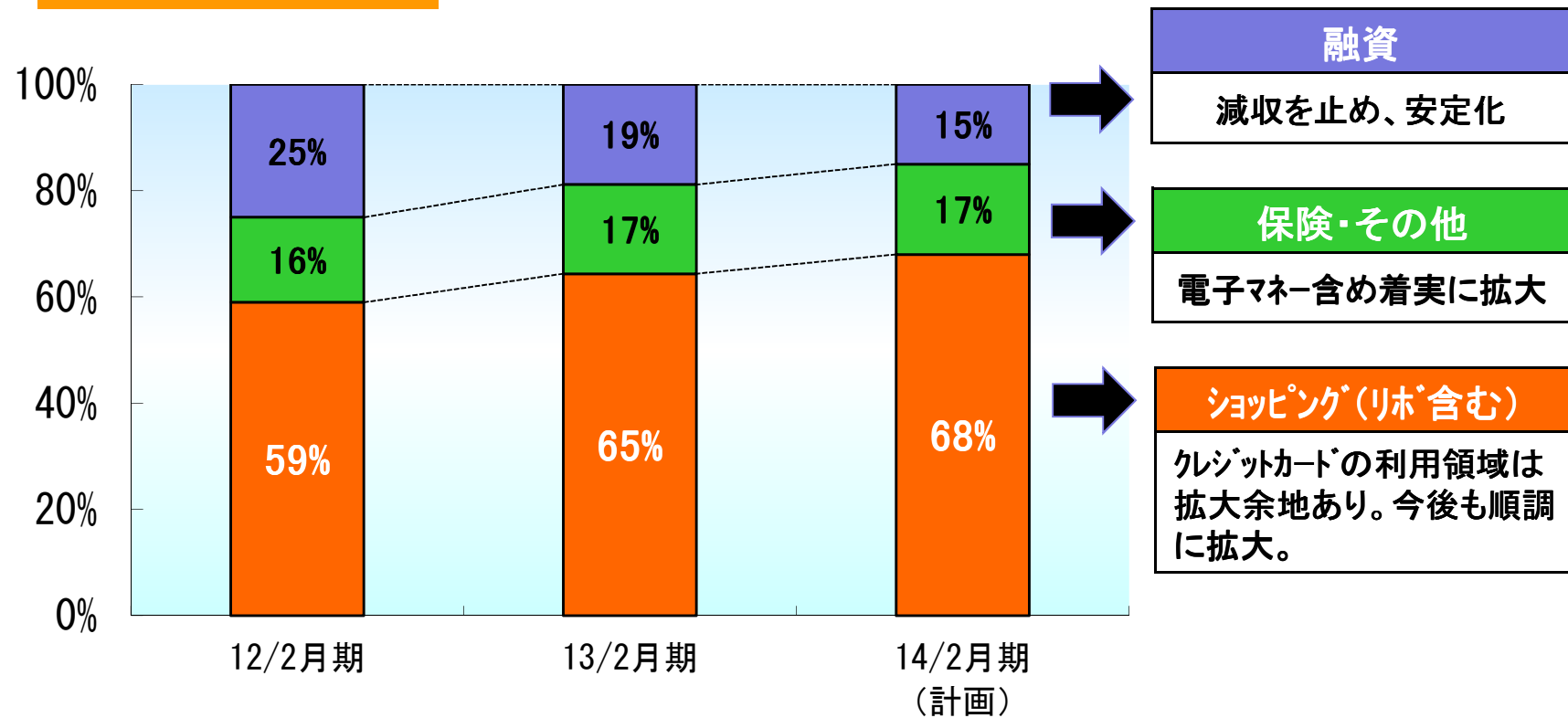
2014年2月期 計画

	2014/2月期
会員数	90万人
取扱高	90億円
営業収益	177百万円
営業費用	390百万円
損益	▲213百万円

### 3. 収益構造の変革

	2013/2月期	2014/2月期(計画)	前年差異
<b>営業収益計画</b>	<b>167億円</b>	<b>173億円</b>	<b>+ 5.7億円</b>

営業収益 構成比



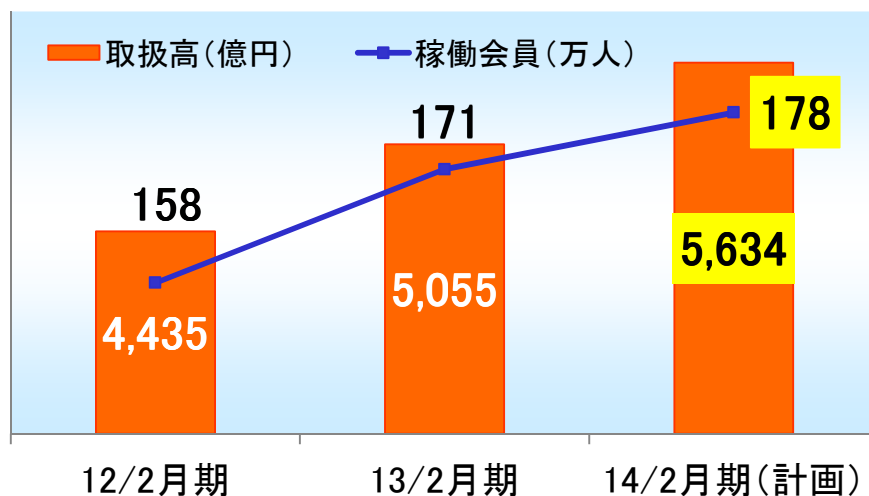
## 4. 収益構造の変革（ショッピング）

2014年2月期目標

ショッピング取扱高 5,634億円（前年比 11%増）

ショッピング収益 86億円（前年比 11%増）

◆ ショッピング取扱高と稼働会員数の推移



◆ 重点指標

カード会員募集

18万件（前年比 4%増）

ロイヤルメンバー

19万件（前年比 14%増）

利用者拡大

- アピタ・ピアゴの新規出店に合わせたカード会員の集中募集
- 入会后3カ月以内の会員を対象とした利用促進策の強化

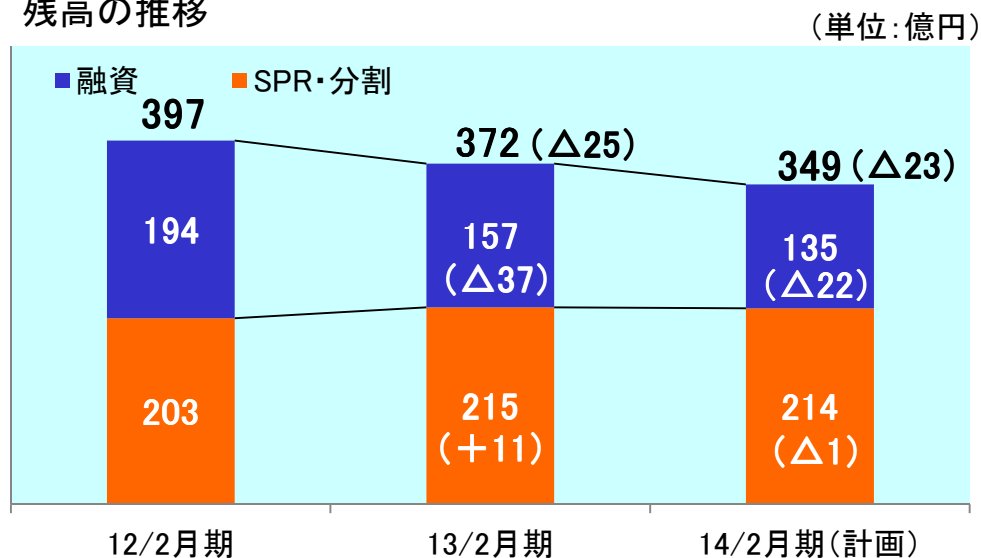
利用額拡大

- ロイヤルメンバーの拡大に向けた、キャンペーンの展開
- 相互送客を目的とした、グループ外加盟店との連携

# 5. 収益構造の変革（ショッピングリボ・分割、融資）

2014年2月期目標	ショッピングリボ・分割残高 214億円（前年末比 0.6%減） <small>（以下 SPR・分割）</small>
	融資残高 135億円（前年末比 14.3%減）

### ◆ 残高の推移



### ◆ 取扱高と営業収益

融資(カード・証書貸付)	
取扱高	141億円 ( 0.9%減)
営業収益	2,574百万円 (16.8%減)

SPR・分割	
取扱高	184億円 ( 3.9%減)
営業収益	3,098百万円 ( 2.9%増)

利用者拡大

- キャッシング枠付与率向上による新規利用者の開拓
- 「あとからリボ」の推進と「リボ宣言」のクロスセルによる利用者の拡大

利用額拡大

- 適正な与信枠の設定
- DMとアウトバウンドによる金融枠、割賦枠の増枠推進拡大

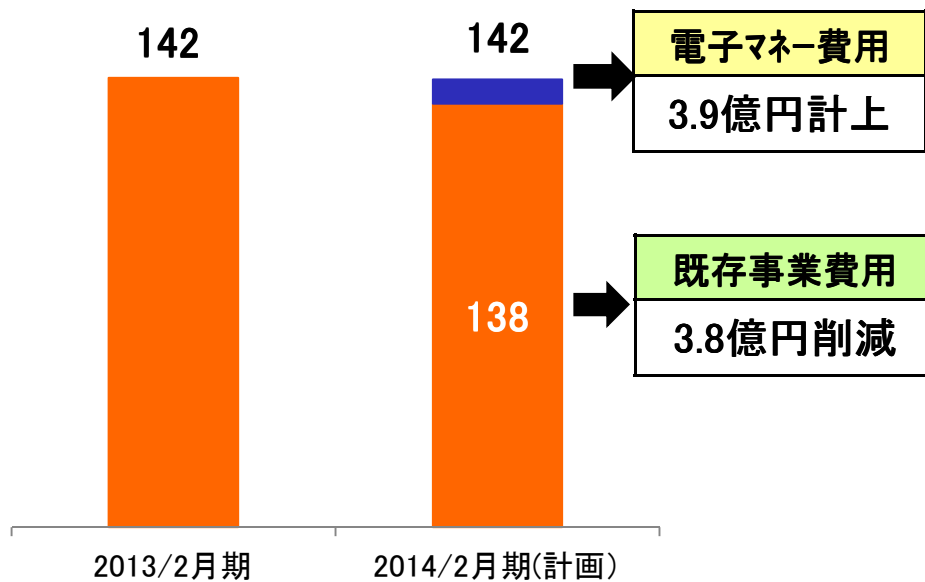
# 6. ローコスト運営

	2013/2月期	2014/2月期(計画)	前年差異
<b>営業費用計画</b>	<b>142億円</b>	<b>142億円</b>	<b>+ 0.1億円</b>

- 電子マネー事業開始にともない、販売促進費を中心に費用増加。
- その他の費用は、ローコスト運営の推進により前期より削減。

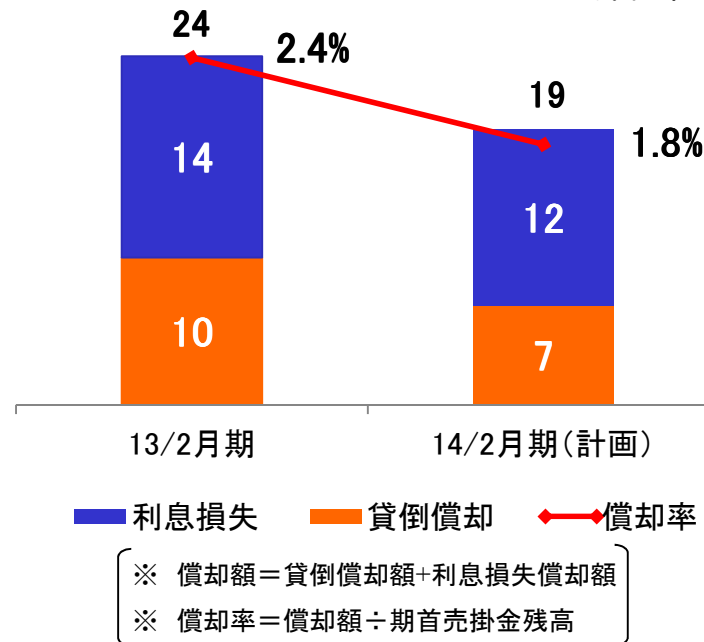
## 営業費用の内訳

(単位:億円)



## 償却額と償却率

(単位:億円)



## 7. 2014年2月期業績予想

項目	単位	2013年2月期 実績	2014年2月期 予想	前期比 増減率
営業収益 Operating revenues	億円	167	173	+ 3.4%
営業利益 Operating income	億円	25	31	+23.4%
経常利益 Ordinary income	億円	25	31	+23.1%
当期純利益 Net income	億円	13	18.5	+32.2%
経常利益率 Ordinary income ratio	%	15.1	17.9	+18.5%